

令和4年7月号

磯松



三島村立三島硫黄島学園
学校だより

「ジャンベって素晴らしい」

こうちょう いしおかひでひさ
校長 石岡秀久

梅雨も終わり、暑さも厳しくなり始めました。三島硫黄島学園の後期生は今年も「夏の祭典」に向けてジャンベの練習も本格的になっています。ジャンベは西アフリカの打楽器で、誰でも音を出すことができます。

しかし、演奏をするためには技術の習得が必要になってきます。そこには、スポーツや学習と同様に乗り越えなければならぬ「壁」がいくつもあります。

「壁」を乗り越えた先に「感動」が待っています。自分の奏でる音だけではありません。仲間の音を聴き、仲間とともに演奏をつかっていく、そこに喜びがあります。長くジャンベをたたいている生徒もいれば、2～3ヶ月しか経験のない生徒もいます。お互いにカバーし合いながら最高の演奏をしてほしいと思っています。今年度の「夏の祭典」は久しぶりに観客の前で演奏できました。保護者の方もいらっしゃったことでしょう。多くの支えがあってステージに立てたことに感謝してほしいと思います。

皆さんの手はマメやテーピングで痛々しかったですが、頑張っていた証です。緊張やプレッシャーを乗り越えて勝ち取った金賞は君たちの誇りです。この結果を胸に、君たちの将来が楽しいステージになるために2学期も楽しい学園生活を送りましょう。

いおうじまがくえん <硫黄島学園に来て>～1学期の終わりに～



19日(火)、1学期の終業式を迎えました。2年生の小湊逸聖さん、8年生の向井彪悟さんが1学期の反省や感想、夏休みに取り組みたいこと、2学期の抱負などを発表してくれました。(詳しい内容はみしまっこ日記をチェック!) 2人とも硫黄島学園に来てからの出会いや頑張りについて自分の言葉でまとめていました。自信をもった表情で発表する姿に大きな成長を感じました。

六月燈・夏の祭典に向けた演奏発表会ではたくさんの方々にジャンベ演奏をご覧いただきました。後期課程生がリードする踊りや太鼓の演奏は、硫黄島学園の伝統になっています。後期課程の生徒の多くが始めたばかりでしたが、しっかりとした演奏に仕上がっており、島民の皆さんの大きな拍手が大きな自信につながり、ステージ上でも笑顔で演奏することができたそうです。金賞という結果も皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。



インスタ
フォロー
してね



みしまっこ
日記も
よろしく

たの <楽しいプール>～水泳発表会・カヤック体験～

水泳発表会が盛大に行われました。昨年度に引き続き、保護者の皆様・地域の方々がたくさん来てくださり、児童生徒の張り切った姿を見ることができました。飛び入り参加で素晴らしい泳ぎを披露してくださったアイバンさん、大岩根さん、島袋さん、ジャンベ留学生の皆さんありがとうございました。



観光案内所の玉利さんを講師に迎え、カヤック体験も行いました。次は海に出て、大自然を満喫したいですね。



まも <ウミガメを守る>～PTA海岸清掃～

9日(土)雨の降る中、海岸清掃への御協力ありがとうございました。世界中から流れてくるのだからあって思われる様々な漂流物。ウミガメが産卵できる環境をこれからも守っていきたいですね。



いおうじま みりょくつた <硫黄島の魅力伝えた>～かごピタ～

8日(金)かごピタの取材がありました。皆さんが普段から調べている硫黄島の魅力を存分に伝えてくれたおかげで、29日の放送は素晴らしいものになっていましたね。

ふしょうじこんぜつ <不祥事根絶のために>

わたし きょういくしゃ つぎ せんげん
～私たちは教育者であるために次のことを宣言します～

- 1 高い倫理観、使命感をもって「教育」に精励します。
- 2 「師」としての尊厳を胸に、常に研鑽し、「児童生徒の幸せづくり」に邁進します。
- 3 教職員の仲間とコミュニケーションやチームワークを図り、課題や悩みを共有し、速やかな解決に取り組みます。
- 4 「児童生徒の幸せづくり」はもちろん「地域の人々」「自分の家族」それぞれの幸福を常に念頭に置き、日々の行動に努めます。
- 5 県民の負託に応える教育を実践するために、教育に関わる全員が心新たに県民から信頼されるよう精励します。